



中央ウェイ

4月号



新年度を迎えて

校長 荒川 早月

令和3年度がスタートいたしました。昨年度は、新型コロナウイルス感染症に振り回された1年でしたが、こうして、年度の始まりを生徒たちと共に過ごせることに大きな喜びを感じています。まだまだ安心できない状況ではありますが、感染症対策を徹底しながら、充実した教育活動を行ってまいります。生徒や教職員、保護者の皆様の笑顔があふれる中央ろう学校を作り上げていきたいと考えています。

今年度は、中学部の新入生18名並びに高等部の新入生19名を迎え、中学部54名、高等部62名の総勢116名でのスタートとなります。また副校長をはじめ、教職員も新たな新転入者8人を迎えました。

本校は、今年で創立16年目を迎えます。設立当初から、聴覚に障害のある生徒に対し、6年間の中高一貫型教育を行い、大学等への進学に対応できる確かな学力と、調和のとれた人間性を育み、社会に貢献できる生徒の育成を目指すことを基本理念としております。さらに6年間の目標を、社会の変化に応じてたくましく生きる力を身に付け、高い志をもって積極的に学び、自らの能力・適性を生かし、大学等への進学希望を実現する生徒を育成すること、国際化、情報化の進む社会の一員として、協調性と規範意識、思いやりの心のある、社会に貢献できる生徒を育成すること、と掲げております。今後も中央ろう学校の果たすべき役割を、教職員一丸となって果たしてまいりたいと存じます。

中央ろう学校の校章は、頭文字であるCを3つ組み合わせ、調和のとれた心（ハート）と、中央には何事にも動じない心を表す楕円（銀河）で構成されています。3つのCは、Creation(創造)、Challenge(挑戦)、Courage(勇気)を表しています。生徒たち一人一人が自信をもって自分らしく学校生活を過ごしていく中で、この3つのCが表すように、勇氣をもって、様々なことに挑戦し、新しい時代を創造していく担い手として成長していくことを期待しています。保護者の皆様におかれましては、本校の教育への御理解、御協力の程、よろしくお願い申し上げます。

ろう学校で学ぶ皆さんへ

副校長 姫野 滋子

令和3年4月1日に、小林俊也副校長の後任として着任いたしました姫野滋子(ひめの しげこ)と申します。私は初任校が都立杉並ろう学校でした。今は中央ろう学校に生まれ変わっているこの校舎に、本当に久しぶりに足を踏み入れ、かつて幼稚部エリアだった階段の壁に魚のモチーフが残っていたり、夏みかんの木が実を成らせたりしているのを見て、当時をととても懐かしく思い出しました。7年ぶりに、戻ってこられたろう学校が、中央ろう学校だったのも、何かのご縁と本当にうれしく思っております。

中央ろう学校は、聴覚障害のある生徒の皆さんが、自分らしく、勉学や部活動に取り組むことのできる素晴らしい学校だと思っています。やりたいことを見つけ、まっすぐに進んでいく皆さんを、副校長として支えていけるよう、努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。